

聖霊降臨節第20週 特別礼拝

2017年10月15日

第一礼拝(休会) 特別礼拝(午前10:00~) 夕拝(都合により休会)

第1部 **プレイズアワー PRAISE HOUR (賛美の時)**

※歓迎の賛美 同

第2部 **バイブルアワー BIBLE HOUR (みことばの時)**

聖書朗読 『ガラテヤ人への手紙』2章20節(新約366頁) 司会者

黙想 同

メッセージ 「人生は止まらない」 近伸之牧師

※応答の賛美 新聖歌208「イエスは愛で満たす」 同

感謝の献金 同

感謝祈禱 長谷川睦子姉

諸案内 (来信、集会案内) 司会者

諸報告 (来会者紹介、報告および暗唱聖句) 近伸之牧師

※頌栄の賛美 新聖歌198「**GOD BLESS YOU**」(1節のみ) 同

※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」(前方スクリーン参照) 同

※祝福の祈り 近伸之牧師

※後奏

第3部 **フェロウシップアワー FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)**

礼拝堂で教会バザーを行います

※印の所では、お身体の不自由な方以外はご起立をお願いします。

第一礼拝 (特別礼拝に合流)

司会:	片山 健司兄	音響・賛美:	賛美チーム他	※CSは	礼拝に合流
集會:	渡邊 智子姉	説教の録音:	伊東 一馬兄	掃除:	片山 初子姉
	笹川 清子姉	説教の録画:	近伸之牧師		

聖書

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。 『ガラテヤ人への手紙』2章20節

説教メモ

- かつては一日でも長く生きることが目標だった。だが、死ぬまで生きられる、その事実に単純に感謝。
- 自分の人生の価値を否定する人々も多い。だが神が御手にとってくださるとき、必ず人生が変わる。
- 地上の人生は、離陸の助走のようなもの。人生は死によって止まりはしない。そこからが始まりである。

先週の暗唱聖句

「人を恐れるとわなにかかる。しかし主に信頼する者は守られる」 (『箴言』29章25節)

今週の暗唱聖句

「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子とも呼ばれるから」 (『マタイの福音書』5章9節)

個人、団体からの来信

2017年10月15日

宣教区青年会のご案内[11月18日(土)午後4時より新津教会にて] / TCUより領収書 / 「次世代宣教セミナーin新潟」の案内[11月23日(木・祝)] / KKG東北宣教区国外宣教委員(山口牧師)より、長谷部愛実先生出発の報告写真

先週の集会出席者数

10/8(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性-		
		幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性1		
	第一礼拝	男2 女3	※月に一回、実用書道教室を開催	
	第二礼拝	男14 女24 計38	10/9(月・祝)	月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児3 女児6	10/11(水)	水曜祈禱会 男4(求1) 女5
	夕拝	※都合により休会	10/13(金)	しゃべり場タビタ 男- 女3
			10/13(金)	有志によるバザー準備 男5 女12(求2)

諸集会のご案内

10/16(月)午前9:30	実用書道教室	『詩篇』1篇1節	書の指導: 藤田美保姉
10/16(月)午後7:30	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
10/18(水)午後7:30	救 禱 会	教会堂	司 会: 小山 千春姉
10/20(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先: 渡邊 智子姉
10/20(金)午後8:00	金曜祈禱会	教会堂	

10/22(日) 聖霊降臨節第21週

第一礼拝	司 会: 近伸之牧師	音響: 片山 勝三兄	
午前8:00	説 教: 近伸之牧師	献金: 沼田佐代子姉	
教会学校	担 当: 片山 初子姉		
第二礼拝	司 会: 横堀 正美兄	映像・録音: 山崎 敬典兄	感謝祈禱: 山岸あけみ姉
午後10:30	集 会: 小林 洋子姉		
		説教の録画: 近伸之牧師	掃 除: 小林 洋子姉

礼拝について 『創世記』15章1-6節、17章1-8、15-21節、他

主日の予定 T-BREEZE 午後2:00~ 賛美指導: 木南明子姉

夕拝 都合により休会

報 告

1. 礼拝の感謝

特別礼拝の恵みを感謝します。この後は会場を整えて正午より教会バザーを行います。担当者の説明に従い、協力して進めていきましょう。

2. 先週の来会者について

10月8日(日)第二礼拝に、大池雄介・るみ子夫妻、葉上稔倫さん、葉上ゆり子姉、葉上菜穂くん、葉上愛菜さん、大池信介兄、飛澤良治兄、飛澤いずみ姉、飛澤琴美姉が出席されました。

10月11日の水曜祈禱会に倉島幹夫兄が導かれました。

ひとり一人に主の祝福がありますように。

「子どもたちの危機を救うために」 安海靖郎(「ライフ・ライン」メッセージ集より)

子供たち、少年たちが凶悪な犯罪や殺人まで起こし、大きな問題になっています。愛知県で、中学生が同じ中学生から5千万円も恐喝した事件がありました。想像もできないような事件で、大きなニュースになりました。しばらくして、恐喝をしたリーダーの子供の母親が赤裸々な手記を発表しました。看護婦をしている母親は、仕事から帰宅時間が不規則で、息子をかまう時間があまりなかったというのです。こんなふうには書いていました。

「家を空けるときは、『サラダは冷蔵庫に』とか、『○○○はレンジでチンしてね』などとメモを書き残して出勤していました。私の気持ちとしては、子供の食べる物はインスタント物でなければいいとしか思っていなかったのです。今思えば、インスタントラーメンでもいいから、あの子とちょっと話したり、話を聞いてあげたりする時間が必要だったと思います」と。

小学生のときにいじめられていたこの少年は、中学校でいじめられる側に入り、ズルズルとそのリーダー格になり、あの忌むべき事件を犯すまでになってしまったのです。

精神科医で作家でもある中沢正夫さんは、見た目には何のトラブルもなく生活をしている普通の子供が突然精神科のお世話になったり、問題を引き起こしてしまう危険について報告をしています。

またある哲学者は、仮想現実の世界の影響を受けている子供に、

- 一、現実の生命は有限であるということ。
- 二、現実の時間は一回限りであるということ。
- 三、現実では人間は傷つくものだという事。

を教えていく必要があると指摘しています。確かにそうですね。

それにもうひとつ大切なことは、人が生きているのは、ただ何となく生きている、何となく生まれ、働いて死んでいくのではないということ、しっかり教えることです。

人は創造主なる神に造られた、使命を持った存在であるという事を知る事です。人は誰もが孤独で、傷ついたり、挫折したりします。しかし、そのときこそ自分を愛し、生きていく助けとなってくれる、真の神がおられるという事を知る機会でもあるのです。神を知り、生きる意味を知った人は、強く生きていくことができます。

子供は親や周囲の人々から人生を学んでいきます。まず私たち親が、人が生きる目的は働くためだけではなく、神からの使命に生きるのだということを実感して生きているかどうか問われているのではないかと考えてなりません。



膝まづくときの土の香きのこの香 (青柳照葉)

10月15日は「きのこの日」。日本特用林産振興会が1995年に制定。10月はきのこの需要が高まる月で、その月の真ん中の15日を記念日とした。



毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592

10/21(土)「神の御手に導かれて」クリスティアン・マルティーヌさん、三谷梨央さん



東京都の「ABC-Tokyoバレエ団」創立者のクリスティアン・マルティーヌさんと梨央さん夫妻を紹介しします。お二人はウィーンでバレエを学び、プロのダンサー、芸術監督として活躍した後、梨央さんの故郷である日本に戻り、以来十数年にわたって活動しています。バレエ団の様子を紹介するとともに、「神様に導かれてきた」と語る二人にお話を伺います。

Broadcast for *Expanding Gospel into Niigata* BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年度教会目標

「受けるよりも与えることを」

「主イエスが自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

